

# 2011年度第2四半期決算 経営戦略進捗状況説明会

2011年11月15日



**住友金属鉱山株式会社**

# 説明内容

**I. 業績推移・資産内容**

**II. タガニートプロジェクトの状況**

**III. 09中計戦略進捗状況**

**IV. 外部環境**

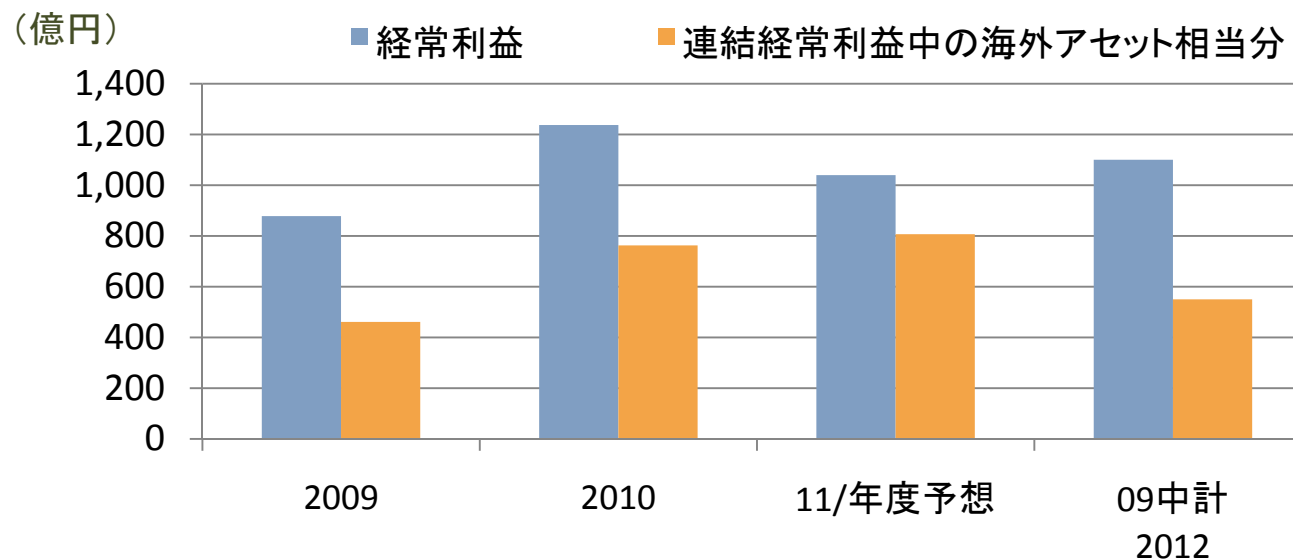
**V. 資料編 業績ハイライト・感度分析**

# I.業績推移・資産内容



電気銅

# 1) 経常利益の推移



(単位: 億円)	2009	2010	2011/1H 実績	2011/2H 予想	2011 予想	09中計 2012
連結経常利益	878	1,237	615	425	1,040	1,100
連結経常利益中の 海外アセット相当分	461	763	453	354	807	550
Cu価格 (\$/T)	6,101	8,140	9,072	8,000	8,536	6,000
Ni価格 (\$/lb)	7.7	10.7	10.52	9.00	9.76	8.0
Au価格 (\$/Toz)	1,023	1,294	1,603	1,650	1,627	1,000
為替	92.9	85.7	79.82	75.00	77.41	90.0

## 2) 経常利益分析 (2011年度5月予想 vs 11月予想)

### 2011年度経常利益予想

5月予想 1,240億円

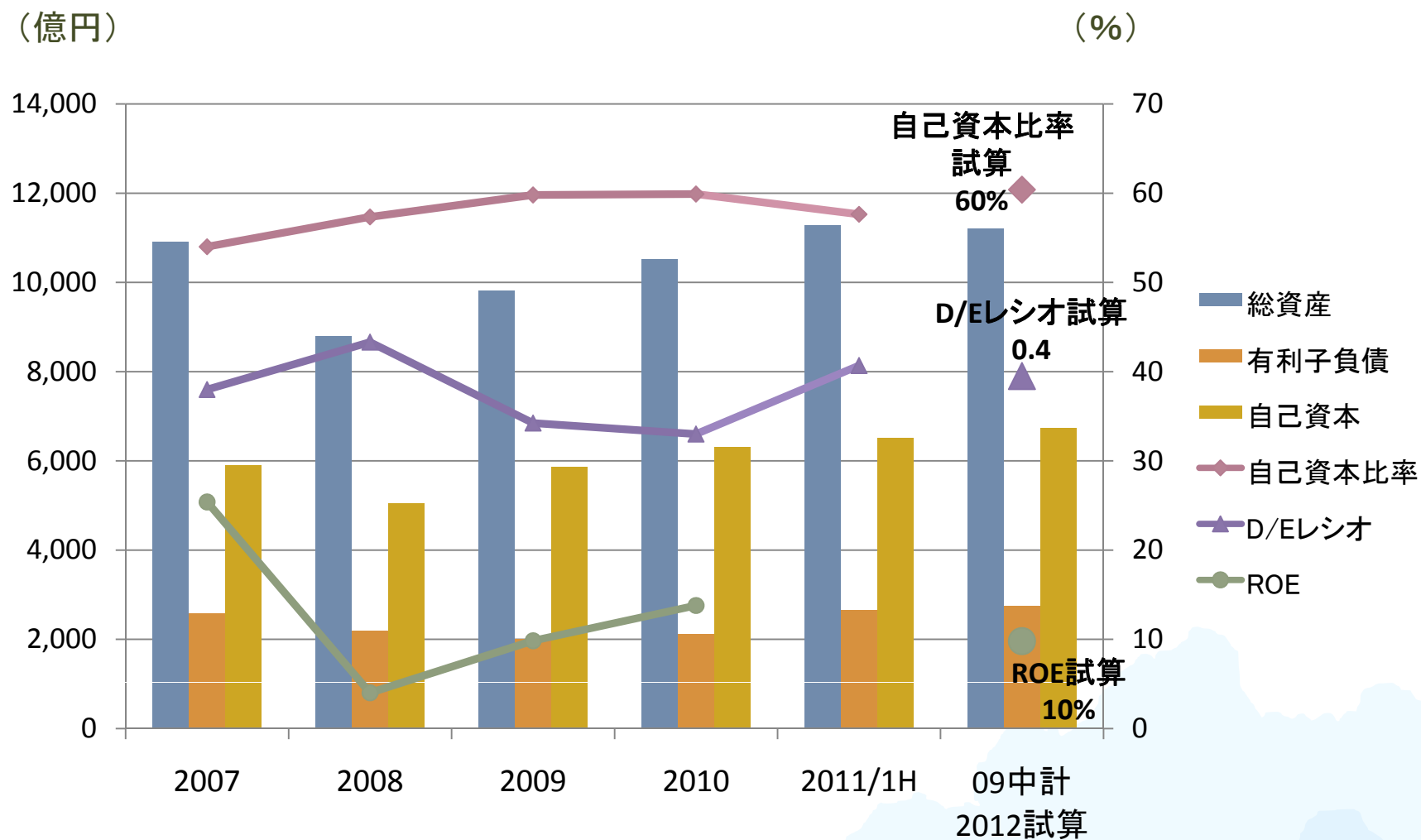
11月予想 1,040億円

△200億円

### 200億円減少の主な内訳

① 金属価格	+70億円
② 在庫評価の影響	△50億円
③ コスト悪化	△50億円
④ 為替(円高)の影響	△70億円
⑤ 材料事業の損益悪化	△90億円

### 3) 健全な財務体質の維持と活用



2011年度2Qに社債を発行 引き続き安定した自己資本比率を維持

## Ⅱ. タガニートプロジェクトの状況 襲撃事件①

### 経緯

**10月3日(月) 日本時間11時頃**

武装勢力約50名 タガニート鉱山を襲い占拠したとの情報  
THPALプラントサイトにも武装勢力が侵入

**同日 日本時間18時頃**

武装勢力 タガニート鉱山・当社プラントサイトから撤退  
当社・コントラクター各社の日本人65名の無事確認

**同日 日本時間21時半頃**

フィリピン国軍・警察約70名現地へ 分駐警備に入る  
日本人以外のプラント建設従事者および周辺住民にも  
死傷者が出ていないことを確認

## Ⅱ. タガニートプロジェクトの状況 襲撃事件②

### 被害状況

重機、建設中の設備等に被害

### 損害金額

現在見積り積算作業中

### 工事再開

安全が確認された後 再開する

### 当社の基本スタンス

**Ni 10万トン体制を目指す方針に変更なし**



## Ⅱ. タガニートプロジェクトの状況 工事の進捗

**2011年9月末時点での全体の工事進捗は約30%**

### スケジュール

2010年 3月 建設工事開始

2011年 4月 港湾設備完了

8月 宿泊施設の一部完成

**2013年**      **建設工事完了**  
**試運転開始**  
**商業生産開始**



Plant Site  
工事進捗の状況  
(2011年6月)

## Ⅲ. 09中計戦略進捗状況



電気ニッケル

# 1) 資源 ①自社探鉱の進展 Stone Boy

## ストーンボーイ・プロジェクト

### 権益保有比率

SMM 95%、住友商事5%

### 対象鉱物

金・アンチモン

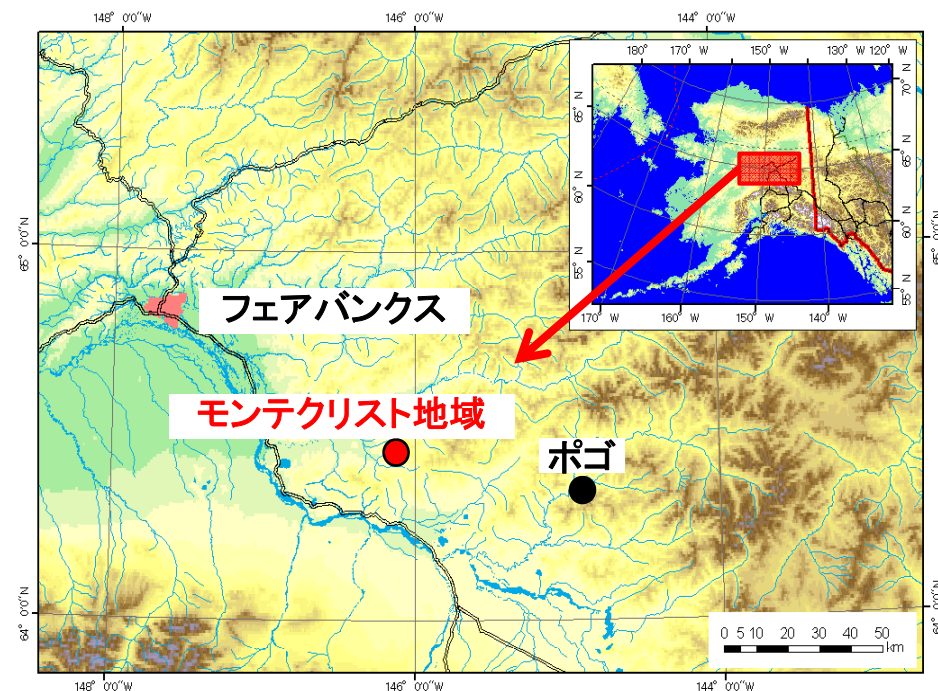
### 現在の状況

モンテクリスト地域 ナオシ地区

2008年ー2010年にかけてボーリング調査を実施  
29孔中 27孔で金・銀・アンチモンの有望な  
鉱化帯の存在を確認

2011年は12孔の探鉱を実施 (現在分析中)  
今後、ナオシ鉱体の選鉱試験を実施予定

➡ 正確な鉱量を把握するべくさらに調査を継続  
ナオシ地区以外の鉱化帯についても調査を進める予定



# 1) 資源 ①自社探鉱の進展 ソロモンプロジェクト

## ソロモンプロジェクト

### 現在の状況

#### 鉱区

チョイスル島: 1 鉱区

約200 Km<sup>2</sup>

サントイサベル島: 3 鉱区

約150 Km<sup>2</sup>



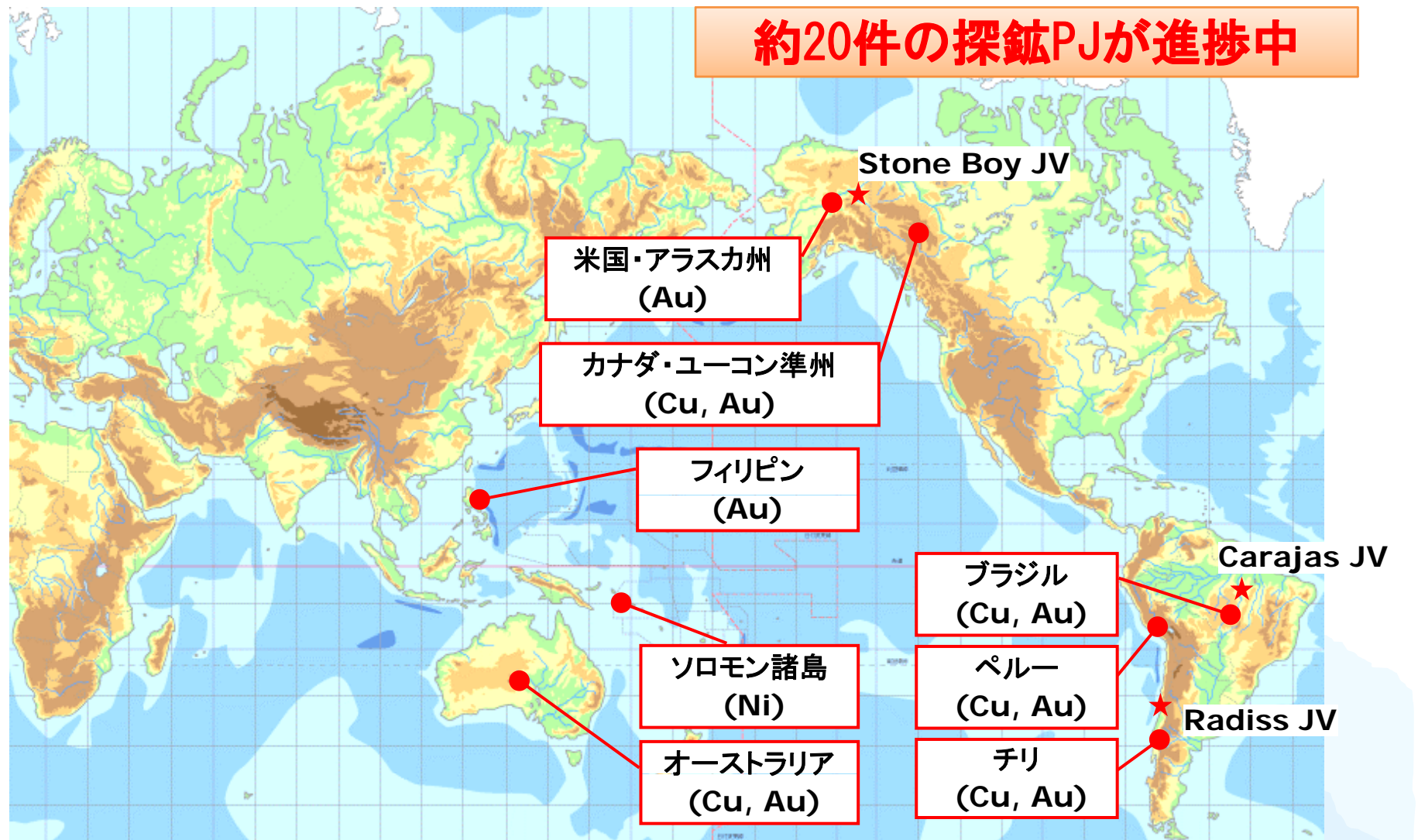
鉱区の探鉱作業と並行して採掘への  
ステップアップに向け許認可を申請中



2011年度中にPre-FS作業完了の予定



# 1) 資源 ①自社探鉱の進展 世界での探鉱の推進



# 1) 資源 ②新規鉱山開発案件への参入 SierraGorda

## Sierra Gorda Project

2011年9月14日

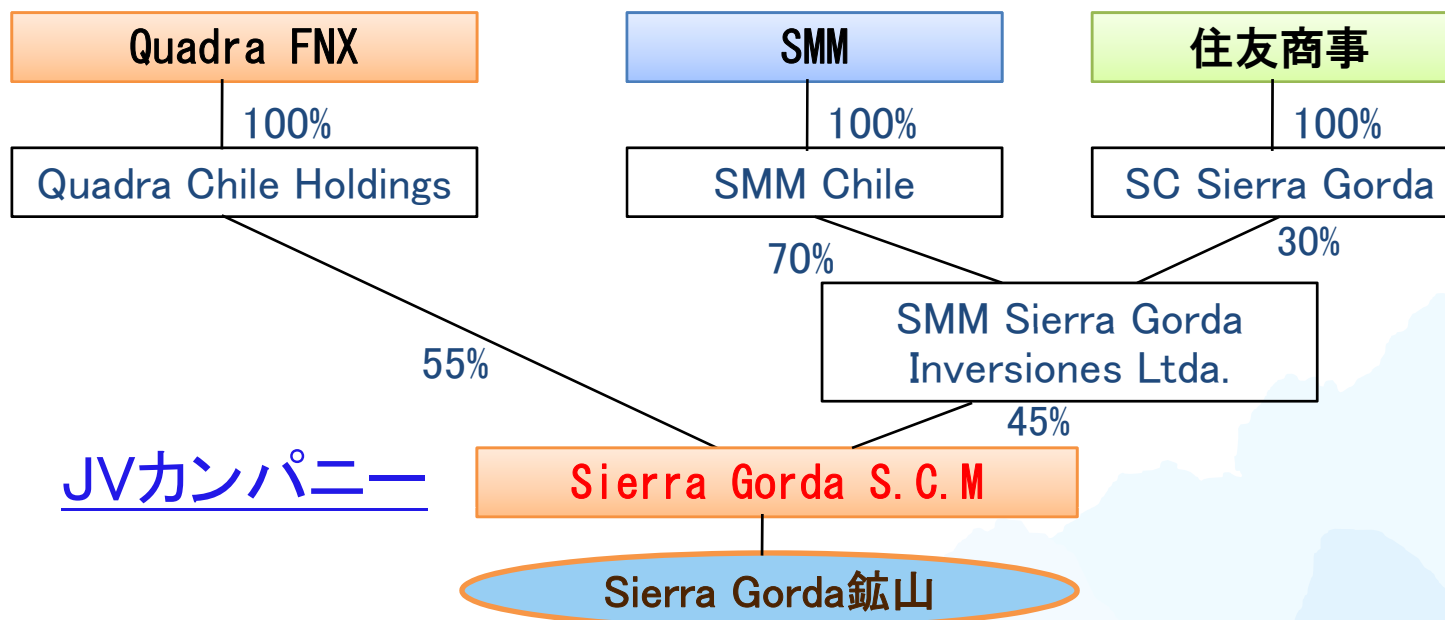
2011年5月締結の投資契約に基づいた、諸手続きのクロージング

➡ J/V会社の発足 Sierra Gorda S.C.M(シエラゴルダ鉱山社)

本社:チリ共和国 サンティアゴ市

総額724百万ドルのうち360百万ドルを出資

以降の出資は必要に応じて段階的に実施する



## 1) 資源 ②新規鉱山開発案件への参入 SierraGorda

### Sierra Gorda Project

#### 開発スケジュール

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
必要許認可取得	————→						
建設		————→					
110kt操業				————→			
190kt拡張起業					————→		
190kt操業							————→

＊ 2011年6月に環境許可取得

＊ 8月SMMから人員を派遣(4名)

＊ 現在 居住施設及び付帯施設を建設中

# 1) 資源 ③既存鉱山の拡張 Cerro Verde

## Cerro Verde 鉱山 拡張プロジェクト

### 採掘量増加

現在 320kt/日 ➡ 850kt/日へ

### 選鉱能力増強

現在 120kt/日 ➡ 360kt/日へ

### 生産銅量

- 精鉱 220Kt/年
  - SXEW 80kt/年
- ➡ 拡張後トータル 約500Kt/年

### スケジュール

- \* 2011年4Qに環境影響アセスメント手続き開始
  - \* 2012年末までに許認可手続きを完了
  - \* 2013年工事開始、2016年完成予定
- 起業費 ～\$4B





# 1) 資源 ③既存鉱山の拡張 Morenci

## Morenci鉱山 拡張プロジェクト

### 採掘量増加

現在 635kt/日 ➡ 816kt/日へ

### 選鉱能力増強

現在 50kt/日 ➡ 115kt/日へ

### 生産銅量

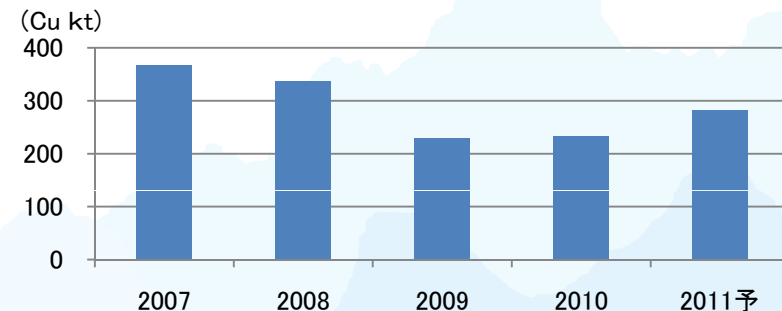
・精鉱 70Kt/年 ➡ 拡張後トータル 380Kt/年  
・SXEW 210Kt/年

### スケジュール

- \* 2012年初旬までにFS完成予定
  - \* 許認可手続きは2011年下期より開始
  - \* 2014年工事完成 フル稼働の予定
- 起業費 ～\$1.2B



Morenci鉱山生産量



SUMITOMO METAL MINING CO., LTD.

# 1) 資源 ③既存鉱山の拡張 Northparkes

## Northparkes 鉱山 拡張プロジェクト

### 経緯

#### \* STEP CHANGE PROJECT のスタート

2010年8月

→ 拡張の可能性を探るべく、  
Pre-FS段階への移行を発表

- ・ 既存3鉱体の下部及び新規1鉱体の開発により、生産規模の拡大を計画

### 拡張計画

2010年産銅量 38Kt

➡ 拡張後の年間産銅量  
150Kt(SMMシェア分20kt)



### スケジュール

- ・ 2012年4QにFSに移行の予定
- ・ 2016年からのフル生産を目指す

# 1) 資源 ④Au 2鉱山資源量のキープ

## ポゴ鉱山

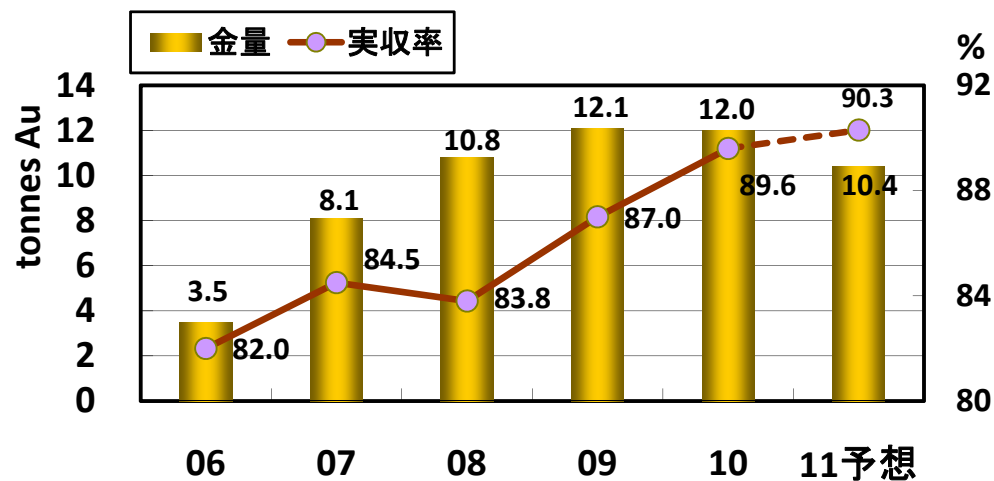
2011年 生産量見通し: 10.4t

→ 低品位鉱石の採掘により減産

埋蔵量(2010.12月末) 122t

さらなる鉱量獲得に向け採鉱を実施

ポゴ鉱山生産量・実収率



## 菱刈鉱山

2011年度 販売量予定 7.5t

埋蔵量(2010.12月末) 149t

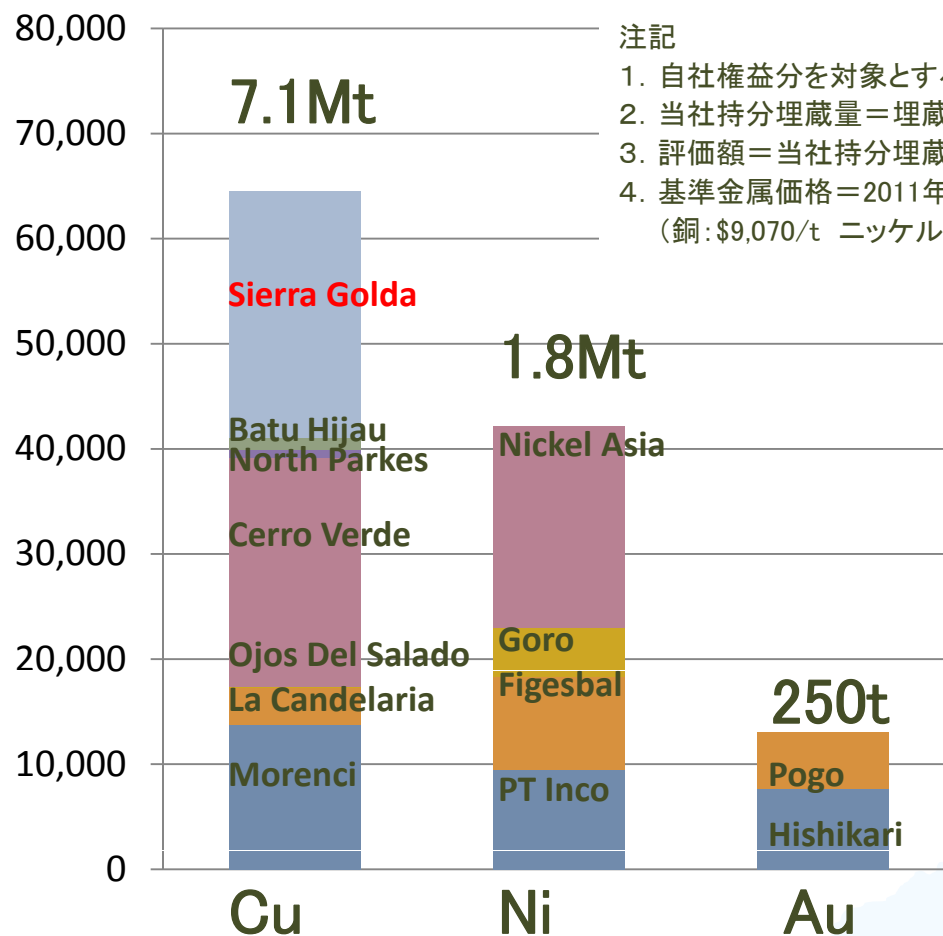
「掘った分を見つける」方針を継続  
引き続き埋蔵量をキープ

# 1) 資源 ⑤権益保有鉱山の埋蔵量

総計120B\$

(推定埋蔵量換算)

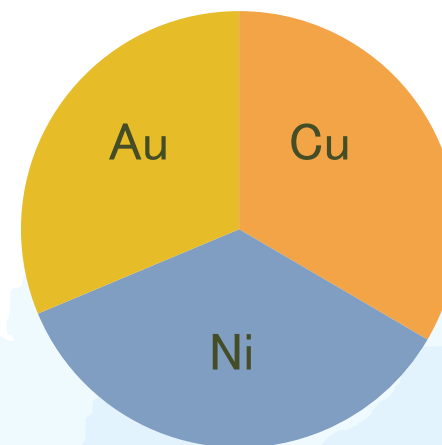
評価額(百万ドル)



注記

1. 自社権益分を対象とする。
2. 当社持分埋蔵量＝埋蔵金属量×当社権益保有比率(%)
3. 評価額＝当社持分埋蔵量×基準金属価格
4. 基準金属価格＝2011年4月から9月の平均価格  
(銅:\$9,070/t ニッケル:\$10.5/lb 金:\$1,600/toz)

権益分メタル別生産額  
ポートフォリオ(2010年度)



## 2) 製錬 ①電気ニッケル 65kt起業への着手

### 電気Ni生産能力増強

◆能力: 41kt/年→65kt/年

◆投資額: 140億円

◆スケジュール

2013年完工・増産開始

→ Taganito HPAL稼働に合わせて垂直立上げ

進捗状況

\*建屋建設工事進行中

\*屋外プラント製作に着手

**➡ Ni10万t/年体制が完成**

設備増強

プロセス開発／改善

Taganitoとの連動

新居浜ニッケル工場

SUMITOMO METAL MINING CO., LTD.

21

## 2) 製錬 ②東予工場

### \* 東予工場官休期間の自熔炉の全煉瓦更新

#### ➡ ほぼスケジュール通り完了の予定

- ◆ 1971年の立上げ後、41年目にし  
て初の炉底部を含む全煉瓦更新
- ◆ 炉体冷却構造の増強・改善
- ◆ 作業環境の改善



#### 《効果》

- ◆ 熔体漏れ防止  
→ 作業リスクの低減
- ◆ 高負荷操業への対応力向上
- ◆ スラグへの銅ロスの改善  
→ 収益力の向上

### \* S.O.F (Side-blowing and Oxy-fuel Flash smelting) の採用

#### ➡ 住友式精鉱バーナーの進化型

- ◆ 反応用空気をシャフト部側壁の  
サイドノズルから送風

#### 《効果》

- ◆ 低ダスト発生率、高酸素効率、  
銅ロス低減  
→ 操業効率・生産性の向上

2012年2月より実操業開始

	4月	5月	～8月	～10月	～12月	2月～
試験	➡					
試験結果まとめ 設備改善検討		➡				
クールダウン改造				➡		
実操業へ適用						➡



## 2) 製錬 ③Goroプロジェクトの状況

- 2010年 4月 精製工程(溶媒抽出)一部設備破損  
8月 First Metal産出  
12月 水酸化Ni 初出荷
- 2011年 6月 当社から役員クラス1名、プロセスエンジニア 2名、  
設備エンジニア1名派遣  
→ 溶媒抽出設備の抜本解決へ支援  
→ トラブル設備の交換を実施
- 10月～ 工程一気通貫の操業試験を開始  
→ 最終製品(酸化Ni)生産体制構築へ
- 2012年～ 酸化Ni本格生産

### 3) 材料事業 ①選択と集中を推進

#### ◆成長を目指す事業

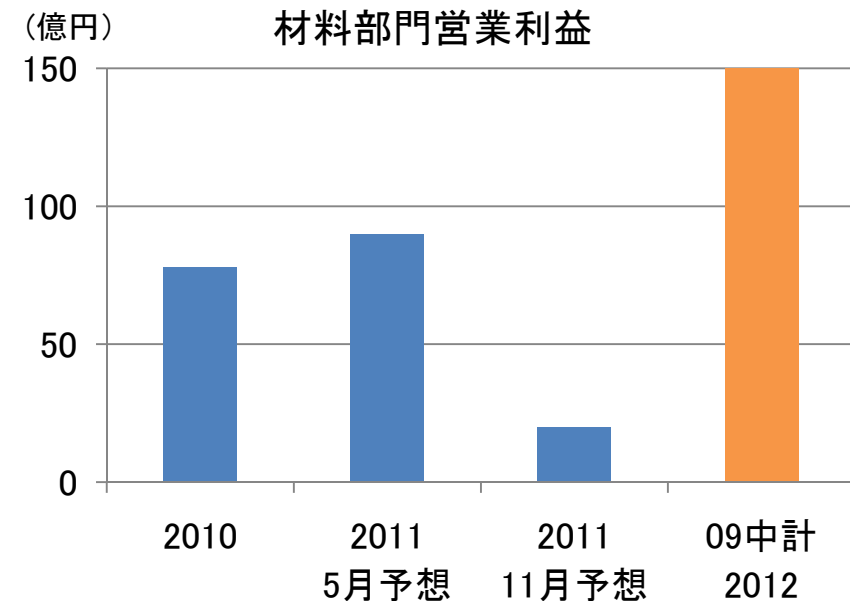
環境・エネルギー分野向け材料

#### ◆基盤強化を図る事業

生産性向上・コストダウンの追求

#### ◆成長戦略を描けない事業

撤退/譲渡





### 3) 材料事業 ②成長戦略 電池材料

既存事業を基軸にした事業拡大

➡ TOYOTA車(プリウス・カムリ 等)向け正極材料ファーストベンダーを維持

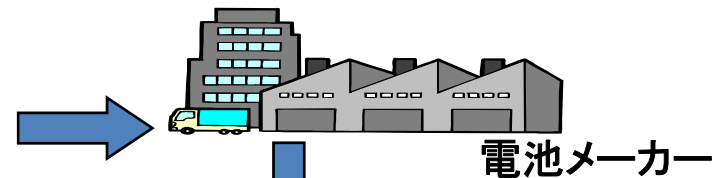
市場対応型事業の展開

資源～正極材料～リサイクルの新たなビジネスモデル確立

電池材料製造開発



機能性材料事業部／  
電池研究所



↑ ニッケル化成品製造



ニッケル工場

リサイクル資源

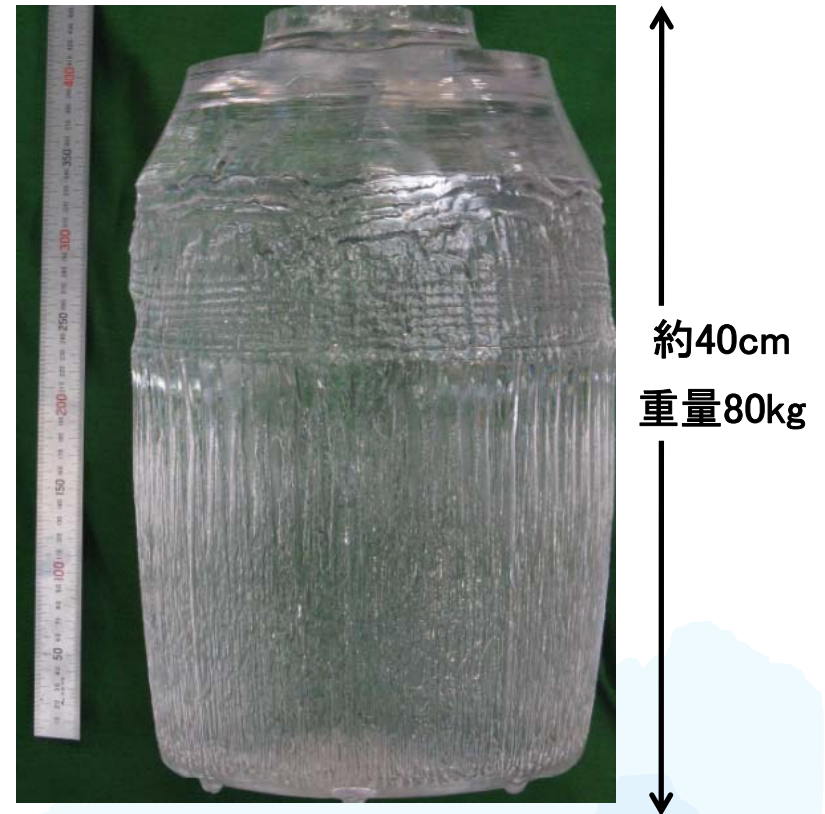
自社Ni,Co資源



### 3) 材料事業 ③成長戦略 サファイア基板

照明用LED需要拡大に伴い  
大型基板の強い引き合い

- ◆大型結晶量産技術は確立  
1インゴットからの6in  $\phi$  2本抜きによるコストダウン
- ◆大口電子(株)での加工工程はすでに稼動中
- ◆6in  $\phi$  基板増産投資計画 大詰め



### 3)材料事業 ④販売統括(中国)

SMM中国販社

#### 中国マーケットにおける営業企画機能

- 需要動向、顧客ニーズの把握
- 市場開拓
- 製造部門への適切なフィードバック
- 材料・ベースメタルを対象

設立時期(予定) 2012年上期

場所:上海地区

## 4) 進行中プロジェクトの戦力化

資源・製錬を中心とした各プロジェクトが  
2012年度から貢献

進捗状況)

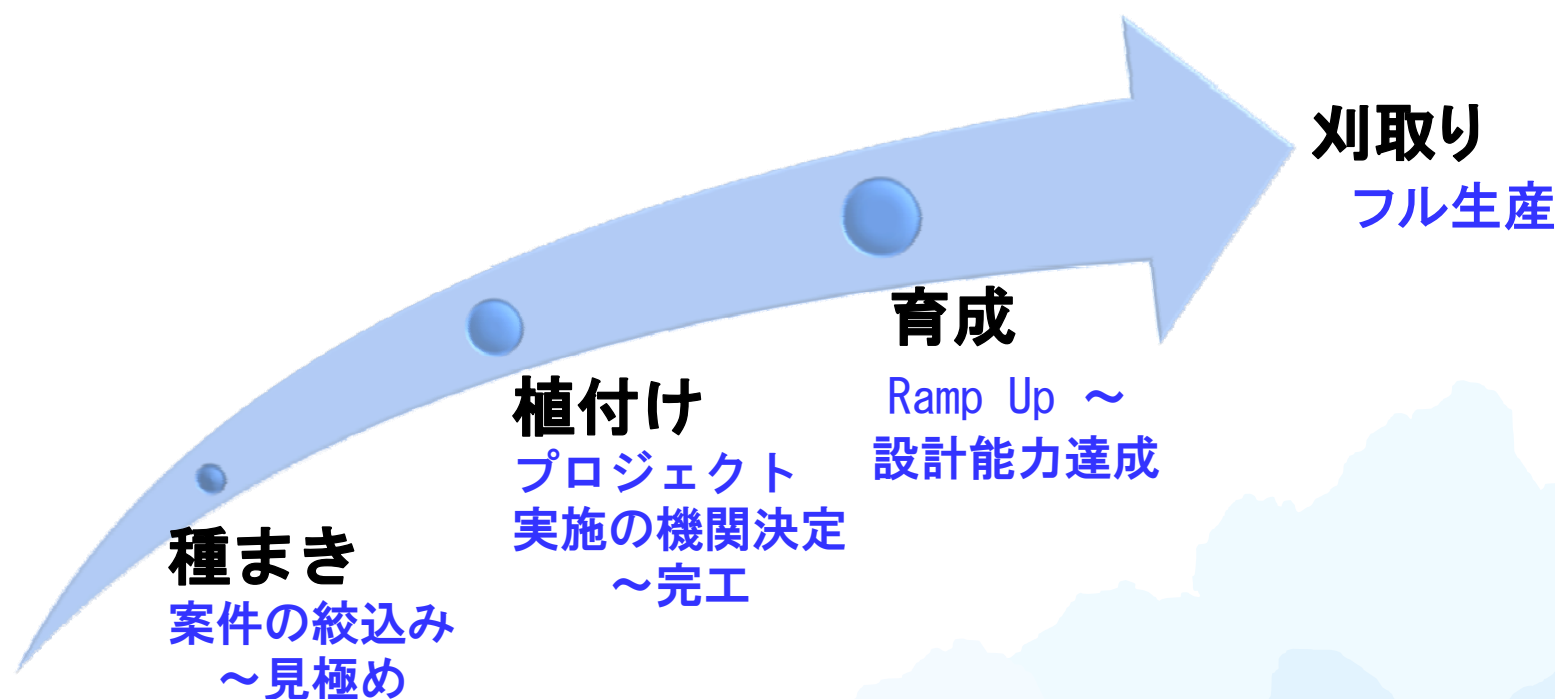
資源関連プロジェクト: 順調

タガニート: 工事再開に向け準備中

	プロジェクト	09中計	12中計				15中計	
		2012	2013	2014	2015	2016	2017	
資源	Sierra Gorda開発			○			○	
	Cerro Verde拡張					○		
	Morenci拡張			○				
	Northparkes拡張					○		
製錬	タガニート		○					
	電気ニッケル65千t起業		○					
	Goro	○						

## 5) 企業価値向上委員会

- ◆ 長期的な視点による大型プロジェクトの仕込みと育成
- ◆ 新規大型プロジェクト案件候補から「種まき」案件を選定
- ◆ 案件毎の「植付け」から「刈取り」まで継続的に進捗確認

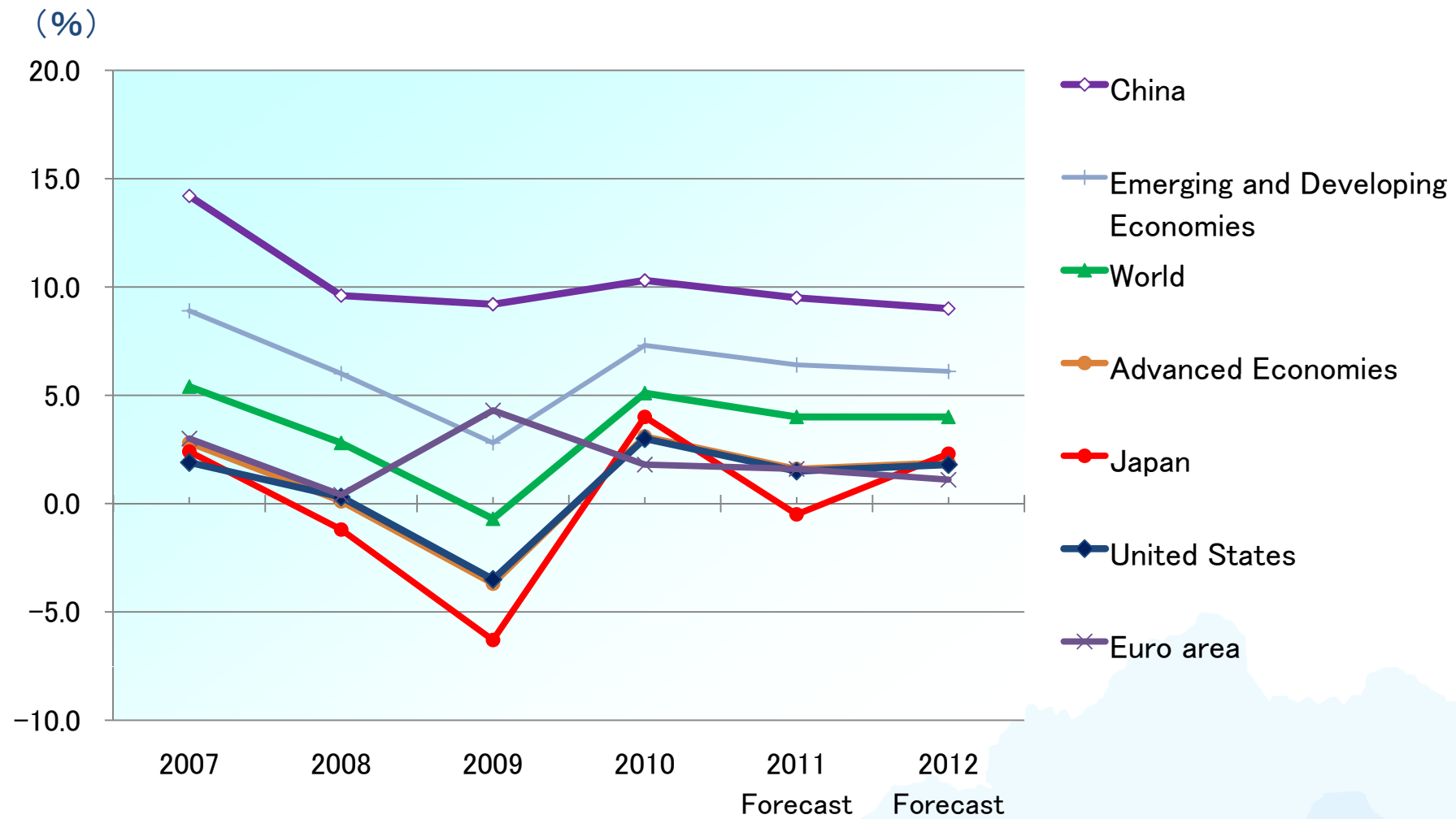


## IV. 外部環境



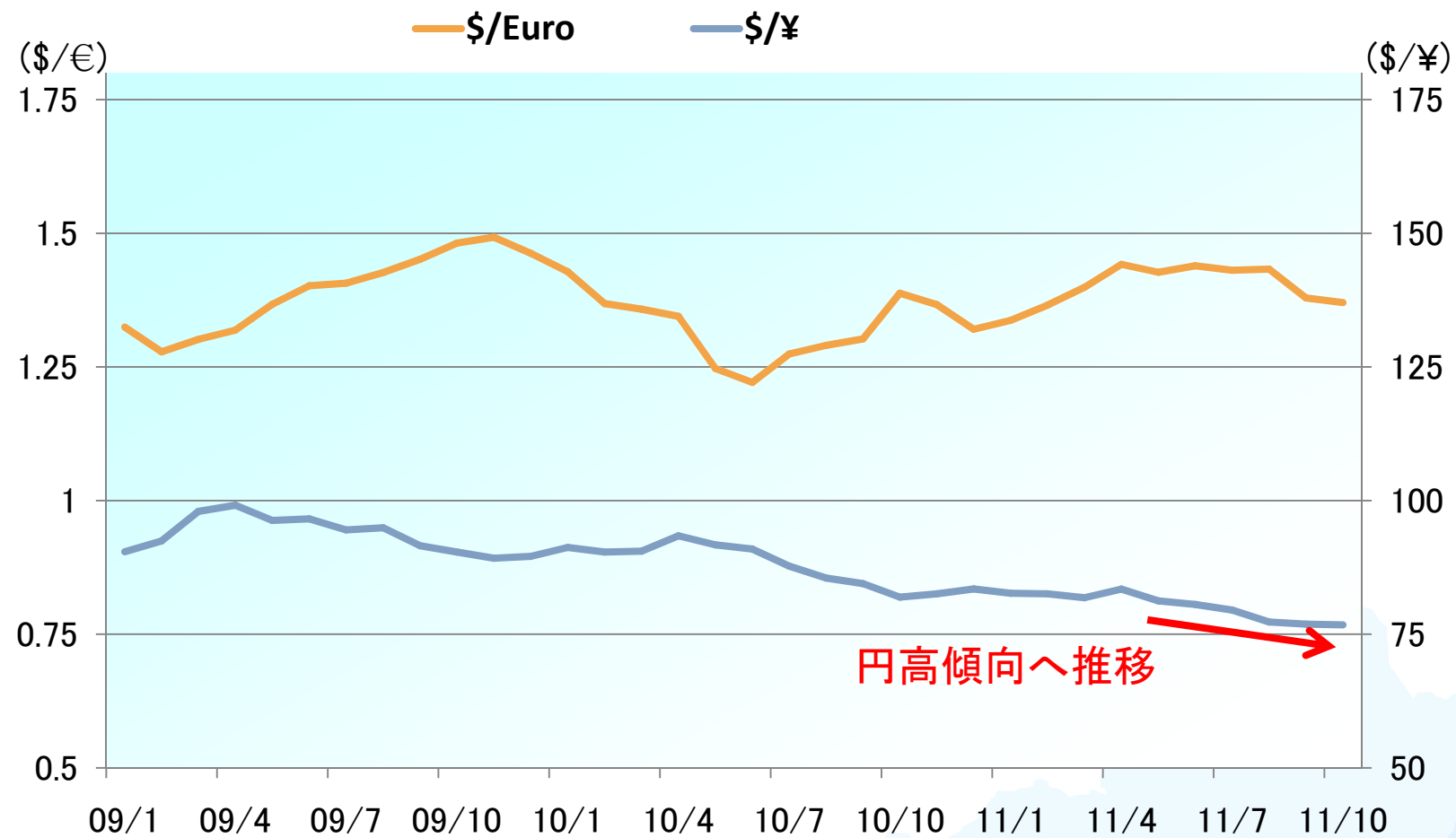
金

# 1) GDP予測



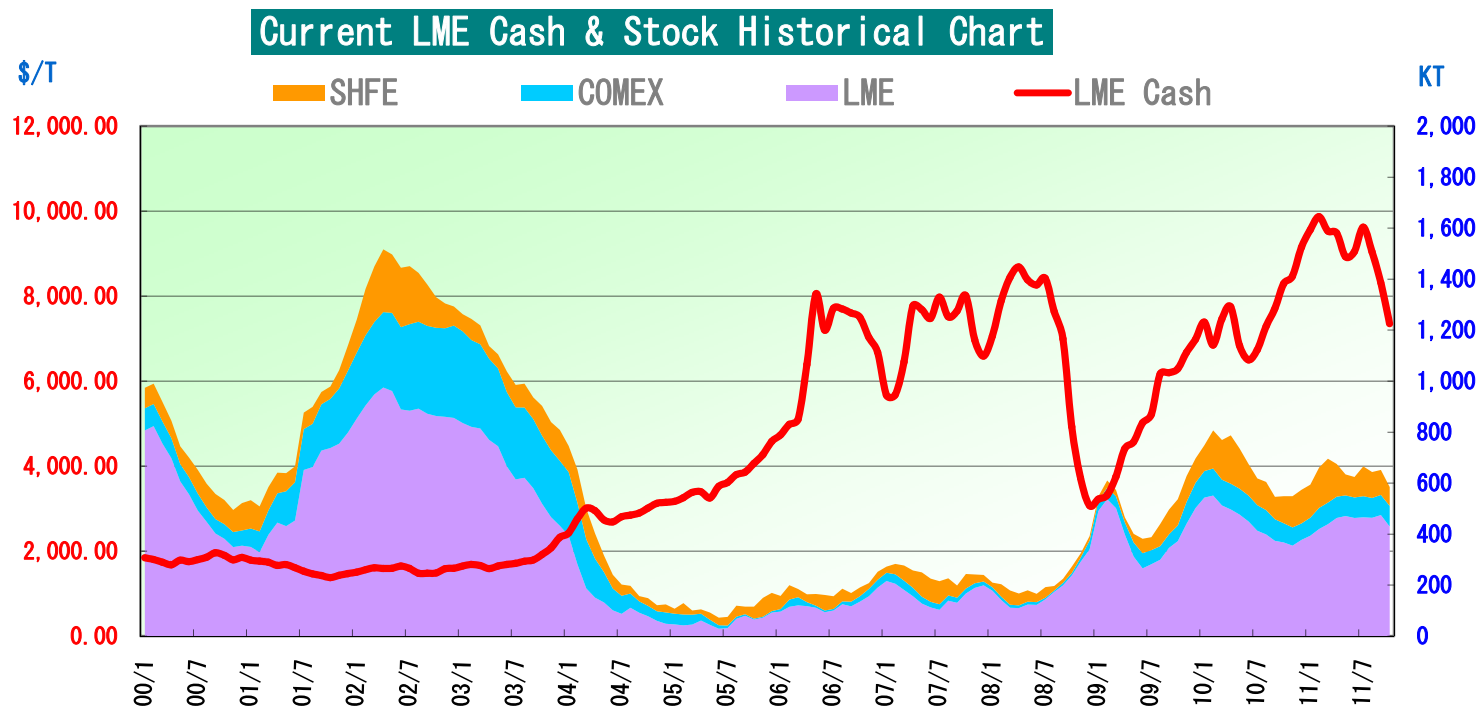
(出展:IMF2011/9月版)

## 2) 為替動向



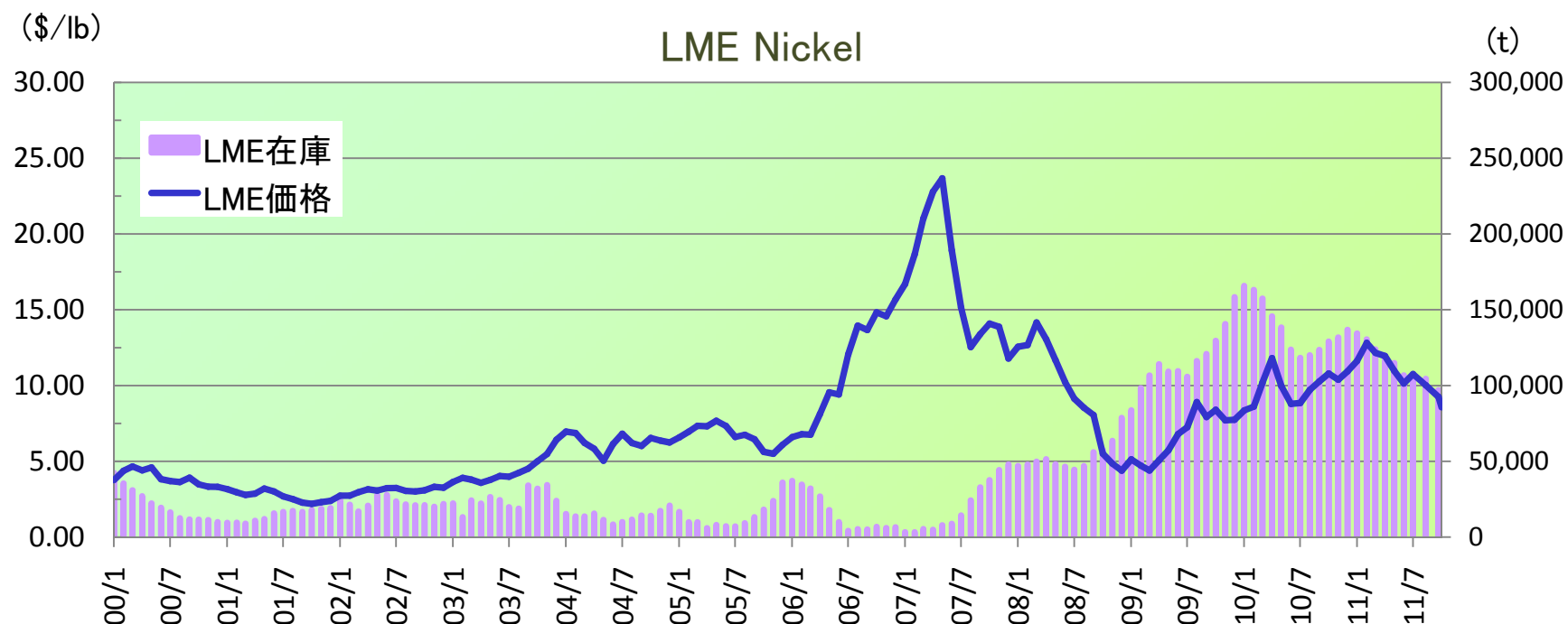


### 3) Cu価格/在庫推移・需給バランス



(kt)	ICSG			Macquarie		
	2010	2011	2012	2010	2011	2012
生産	19,035	19,475	20,136	18,835	19,427	20,465
消費	19,386	19,676	20,392	19,057	19,851	20,642
バランス	△ 351	△ 201	△ 256	△ 222	△ 424	△ 177
予測時期	2011.9			2011.10		

## 4) Ni価格/在庫推移・需給バランス



(Kt)	SMM			INSG			Macquarie		
	2010	2011	2012	2010	2011	2012	2010	2011	2012
生産	1,425	1,577	1,692	1,439	1,596	1,740	1,434	1,603	1,732
消費	1,488	1,566	1,638	1,479	1,571	1,667	1,492	1,608	1,697
バランス	△ 63	11	54	△ 40	24	73	△ 58	△ 5	35
予測時期	2011.9			2011.9			2011.10		
Ni 銑鉄(内数)	170	220	235	—	—	—	159	263	255
Stainless steel	31,785	32,797	34,604	—	—	—	32,254	34,488	36,951

## 5) Au価格推移



公的機関金保有量  
(2011年8月時点)

	国名	トン	外貨準備 の中の金 の割合
1	米国	8,134	74.2%
2	ドイツ	3,401	71.4%
3	IMF	2,814	—
4	イタリア	2,452	71.2%
5	フランス	2,435	66.2%
6	中国	1,054	1.6%
7	スイス	1,040	17.8%
8	ロシア	837	7.7%
9	日本	765	3.3%
10	オランダ	613	58.9%
11	インド	558	8.7%

## V. 業績ハイライト・資料編



硫酸ニッケル



塩化ニッケル



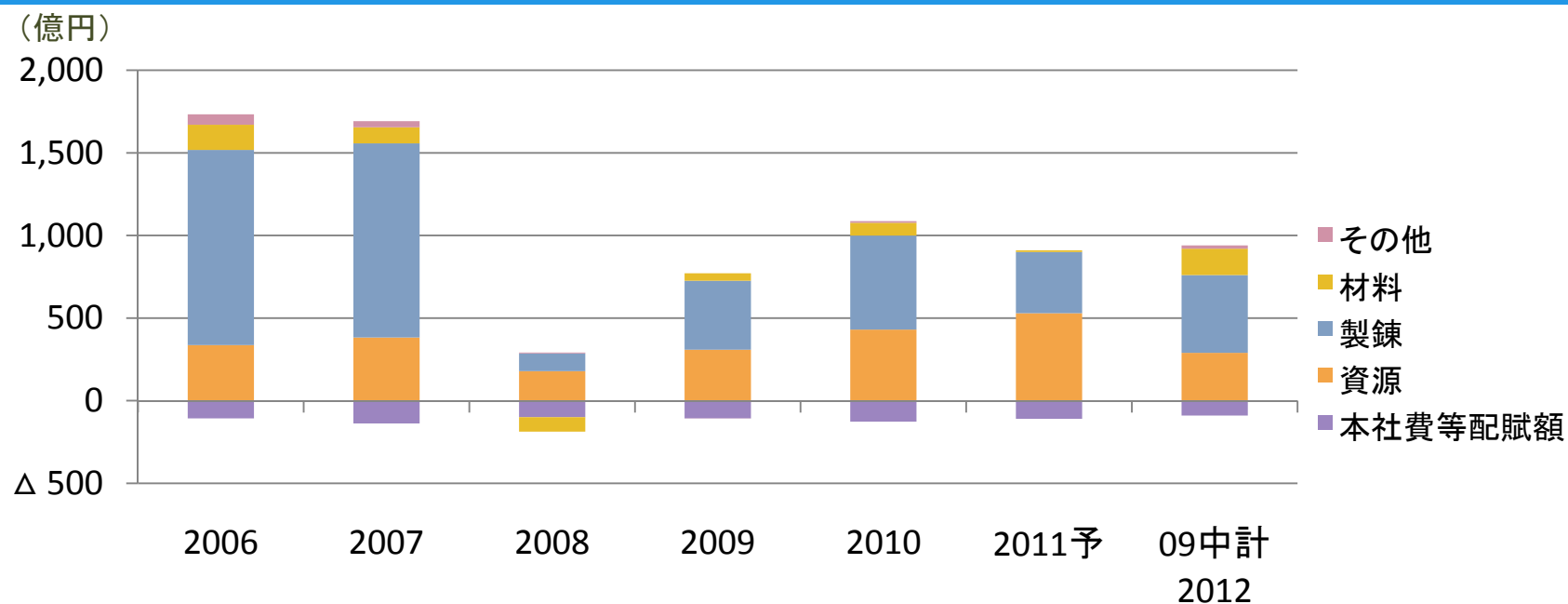
電気コバルト

# 1) 売上高・連結業績推移

(億円)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011予想	09中計 12試算
売上高	9,668	11,324	7,938	7,258	8,641	8,150	7,800
営業利益	1,626	1,554	105	663	960	800	850
経常利益	2,053	2,179	326	878	1,237	1,040	1,100
内 持分法利益	467	740	315	261	348	330	300
当期純利益	1,261	1,378	220	540	840	670	700
ROA(%)	14.8	13.6	2.2	5.8	8.3	—	6
ROE(%)	29.0	25.4	4.0	9.9	13.8	—	10
1株あたり配当金(円)	27.0	30.0	13.0	20.0	32.0	32.0	N/A
銅(\$/T)	6,970	7,584	5,864	6,101	8,140	8,536	6,000
ニッケル(\$/lb)	14	15.5	7.5	7.7	10.7	9.8	8.0
金(\$/Toz)	629	766	867	1,023	1,294	1,627	1,000
亜鉛(\$/T)	3,579	2,986	1,560	1,934	2,187	2,120	2,000
為替(¥/\$)	117.0	114.4	100.7	92.9	85.7	77.4	90.0

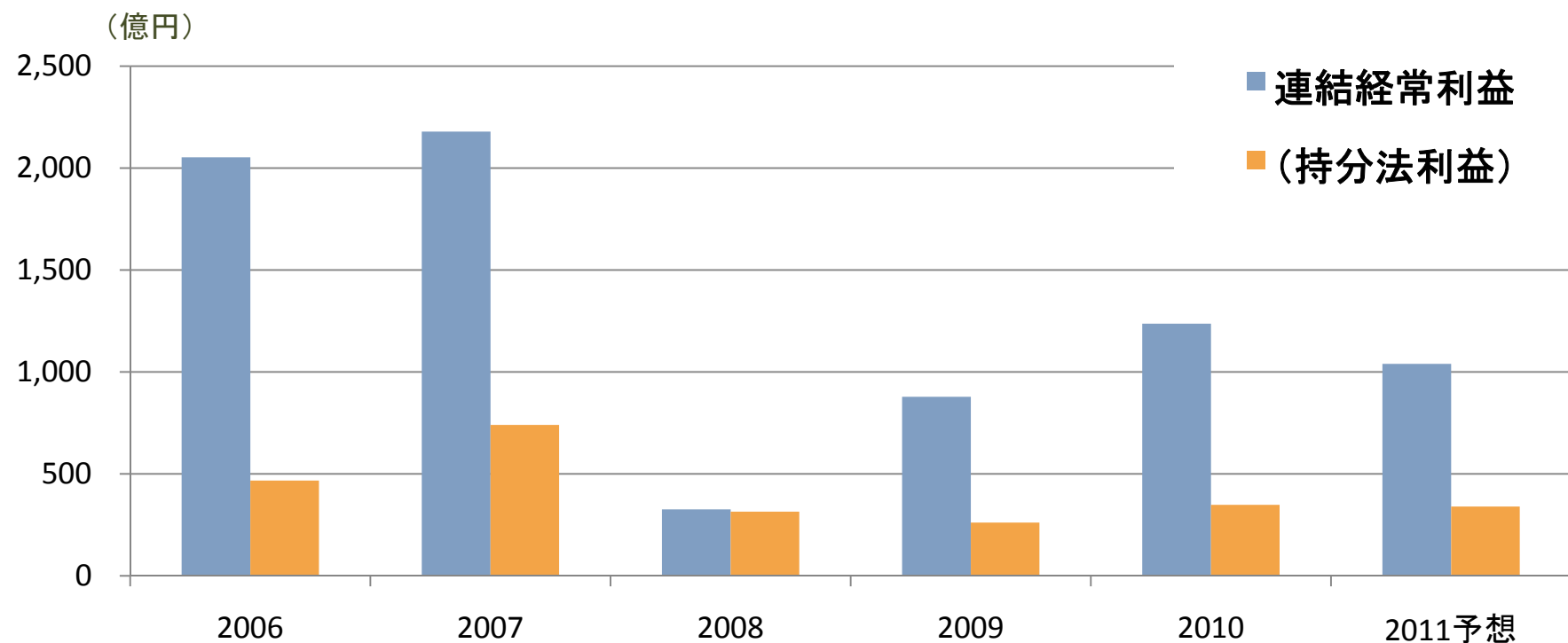
## 2)セグメント別営業利益



(億円)

部門	2006	2007	2008	2009	2010	2011予想	09中計 2012
資源	337	383	179	309	430	530	290
製錬	1,181	1,174	107	417	569	370	470
材料	152	98	△ 87	45	78	10	160
その他	63	37	6	△ 1	10	0	20
配賦前営業利益計	1,733	1,692	205	770	1,087	910	940
本社費等配賦額	△ 107	△ 138	△ 100	△ 107	△ 127	△ 110	△ 90
計	1,626	1,554	105	663	960	800	850

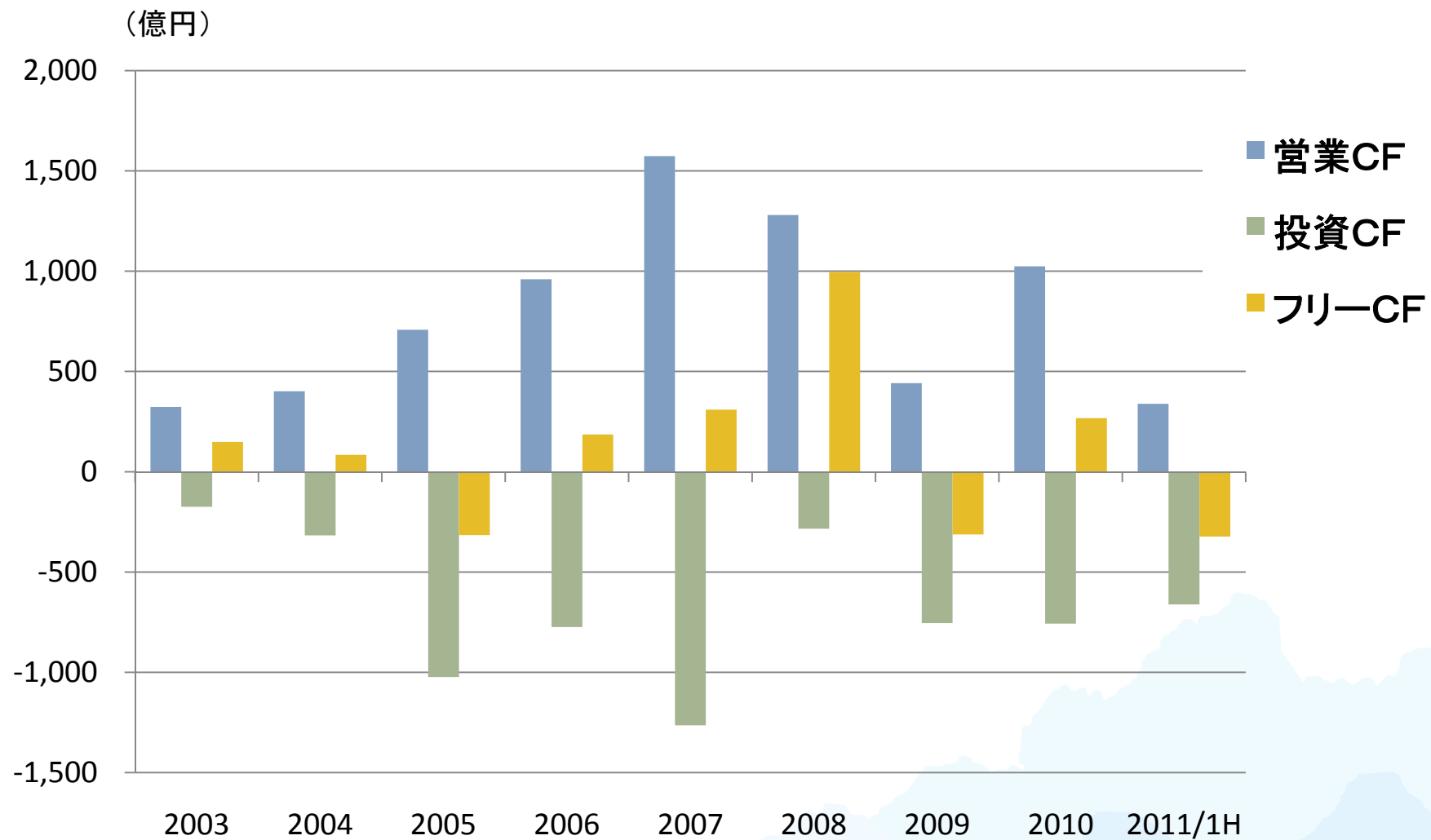
### 3) 連結経常利益・持分法投資利益



(億円)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011 予想
連結経常利益	2,053	2,179	326	878	1,237	1,040
(持分法利益)	467	740	315	261	348	330

## 4) キャッシュフロー





## 5)感度分析

億円／年

要素	変動幅	11年度予想
Cu	±100 \$ /t	5/10
Ni	±10 ¢ /lb	7/9
Au	±10 \$ /Toz	4/4
¥ / \$	±1 ¥/\$	12/12

(注)

1) 営業利益／経常利益 に対する影響額

2) ¥/\$は金属加工収益相当の為替差のみ。

海外関係会社の連結時の業績に対する為替差を含まず。

# 6)用語集

## 資源・製錬

### 1)金属取引

#### (LME)

London Metal Exchange(ロンドン金属取引所)。銅、ニッケル、アルミ、鉛、亜鉛など非鉄金属専門の取引所。LMEで決定された金属取引価格は、金属地金の販売価格や原料購入価格の国際的指標として使われる。

#### (TC/RC)

TC:Treatment Charge (熔錬費)

RC:Refining Charge (精錬費)

金属原料(銅精鉱、ニッケル鉱などの)購入条件の一部として使われる費用。たとえば銅精鉱の購入価格は「一定時点のLME価格—その取引に用いられるTC/RC」(プラス諸条件)という条件が用いられる。

#### (London Fixing)

金はLMEに上場されておらず、価格は市場参加者の相対取引で決定されている。このため毎日午前/午後の2回、ロンドン貴金属市場協会のメンバーである金融機関が発表するLondon Fixing 価格が一日の基準となる価格として取引の指標となっている。

#### (重量ポンド(lb))

ヤード・ポンド法の重量単位。銅・ニッケルの計量基準や価格基準として使われるほか、TC/RCの算出基準として用いられる。1ポンドは453.59グラム、1トンは2204.62ポンド。

#### (トロイオンス(troy ounce))

金・銀など貴金属の重量単位で、1トロイオンスは約31.1グラム。なお「トロイ」はフランス中部・シャンパーニュ地方の都市で、中世ヨーロッパの中心的な市場であった。ここで金・銀と商品を交換する単位として使われたトロイオンスという単位が現在も金の取引単位として使われている。

## 2)金属製錬

### (製錬)

鉱石その他の原料から有用金属を抽出することをいい、主に乾式製錬・湿式製錬に分けられる。当社では東予工場(愛媛県西条市)の上工程(溶錬工程)は乾式製錬、ニッケル工場(愛媛県新居浜市)は全面的に湿式製錬。なお、日本語では「精錬」という漢字もあるが、こちらはすでに高い品位の金属をさらに高めるときに使われることが多い。「Smelting」を製錬、「Refining」を精製とすることもある。

### (乾式製錬)

高温の炉で原料鉱を溶かし、溶けた状態で金属を分離する製錬方法。一度に大量の処理が可能である一方、定期的に耐熱設備の補修が必要となる。

### (湿式製錬)

金属や不純物が薬液に溶け、化学反応を起こすことなどを利用した製錬方法。安定して継続処理が可能な製錬方法であるが、薬液のコストがかかる。

## 3)金属原料

### (硫化鉱)

銅・ニッケルなどの金属と硫黄が結合した鉱石のこと。製錬する場合、硫黄が燃えることで溶解させることができるため、乾式製錬を行うことが多い。

### (酸化鉱)

金属が酸化した鉱石のこと。硫化鉱と違って熱して溶解する場合はエネルギーコストがかかるため、乾式製錬には不向きとされ湿式製錬の原料とすることが多い。

## (銅精鉱)

銅製錬に用いられる原料で、銅が30%程度含まれており、残りはほとんどが硫黄と鉄。おもに硫化鉱から生産される。

現在、海外鉱山で採掘される「鉱石(Ore)」の品位はおおよそ1%前後であり、鉱山で選鉱を行って品位を高めた「精鉱(Concentrate)」の状態にしている。国内の銅製錬所が輸入している主な原料はこの銅精鉱となる。

## (ニッケル酸化鉱)

ニッケル製錬には品位の比較的高い硫化鉱が主に利用されていたが、鉱石としては酸化鉱のほうが硫化鉱と比べて多く分布しており、現在の埋蔵量は硫化鉱3:酸化鉱7といわれている。これまでは製錬する際のコストや技術の問題がありあまり利用されていなかったが、当社はHPAL技術により低品位の酸化鉱からのニッケル製錬に成功した。

## (MS)

ニッケル・コバルト混合硫化物(Mixed Sulfideの略)。CBNCで生産する、ニッケル品位約55~60%の中間原料。当社電気ニッケルの原料となる。

## (マット)

金属の硫化物のことを意味する。ニッケル工場では、PTインコ社からニッケルマット(品位75~80%程度)を原料として購入して電気ニッケルを生産している。

## (自山鉱比率)

自社の製錬原料のうち、出資鉱山に保有する権益により確保される原料の割合。一般的に、鉱山では出資比率に応じて原料鉱を引き取る権益を有する。ただし、セロ・ベルデ鉱山からの原料については、当社は2006年の稼働から当初10年間、出資比率(21%)より多くの買取権益(50%)を有している。

# 6)用語集

## 4)ニッケル生産プロセス

### (CBNC)

当社子会社である、コーラルペイ・ニッケル・コーポレーション(フィリピン)の略。HPAL法でニッケル・コバルト混合硫化物(MS)を製造し、当社ニッケル工場(愛媛県新居浜市)に輸出している。

### (HPAL)

High Pressure Acid Leach(高圧硫酸浸出)の略。

これまで回収が難しいとされていた、酸化鉱からニッケルを回収する技術。当社が世界に先駆け商業ベースでの実用化を行った。酸化鉱を高温高圧状態の硫酸と安定的に反応させることにより、高品位のニッケル原料を生産している。

### (MCLE)

Matte Chlorine Leach Electrowinning (マット塩素浸出電解採取)の略。当社ニッケル工場で採用されている製造プロセス。マットおよびMSを高圧化で塩素に溶かし、電解法にて高純度ニッケルを生産する。他の製法と比べてコスト競争力があるが、操業技術は難しく、類似した技術で商業化している生産者は当社以外には2社しかない。

## 5)金属の主な用途

### (銅の主な用途)

電線、銅管などに加工される。電力ケーブルのほか、民生分野では自動車や住宅関連の配線、エアコンなどに使われている。

### (電気ニッケルの主な用途)

品位は99.99%以上。特殊鋼や電子材料、めっきなどに使われる。日本国内で電気ニッケルを生産しているのは当社ニッケル工場のみ。

### (フェロニッケルの主な用途)

フェロニッケルはニッケル品位20%程度のニッケル・鉄の合金。ニッケル系ステンレス(ニッケル10%前後含む)が主用途。当社グループでは日向製錬所(宮崎県日向市)で生産している。

### (金の主な用途)

世界的には投資・宝飾用の需要が多い。日本国内の産業用としてはやわらかく、伸びやすい特性をいかし、電子製品向けとしても多く使用されている。当社が生産した金も一部はグループ会社がボンディングワイヤーに加工し、販売している。

## 材料事業

### (2層めっき基板)

原料となるポリイミドフィルムの上に、銅をめっきした基板材料。COFの材料として用いられる。当社は大型液晶ディスプレイ向けでは全世界で70%以上のシェアを有している。

### (COF)

Chip on film。液晶駆動用ICに用いられる実装材料で、液晶パネルとICを接合する。

### (L/F)

リードフレーム(Leadframe)。半導体チップとプリント配線板を結ぶ働きをする実装材料。ニッケルや銅を主成分とした合金が薄板状で用いられる。

### (ボンディングワイヤー)

数十ミクロン単位の細さの金線。半導体チップの電極とリードフレームなどを結ぶ導電線として使われる。

### (二次電池)

充電して再利用できる電池をいう。当社の電池材料は、車載用としてハイブリッド自動車、民生用としてノートパソコンの電源となる、ニッケル水素電池やリチウムイオン二次電池の正極材として使用されている。

## ご注意

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因の影響を受けます。

したがって、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

住友金属鉱山株式会社

SUMITOMO METAL MINING CO., LTD.